

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		6 ~ 13	4	4 ~ 4	

大単元(題材名)	1. 生き物をさがそう		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護		

### 【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 生物の姿は、色、形、大きさなど、違うところと似ているところがあることがわかる。 <input type="checkbox"/> 虫眼鏡の使い方や記録カードのかき方がわかる。 <input type="checkbox"/> 野外での観察方法を知り、安全に心がけて活動することができる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 校庭の植物や動物を観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 校庭の植物や動物のようすに関心を持ち、粘り強く観察しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> 生物には、いろいろな色や形、大きさがあることを理解している。	B(1)ア(ア)
	<input type="checkbox"/> 生物には、その姿に差異点と共通点があることを理解している。	B(1)ア(ア)
	<input type="checkbox"/> 屋外で植物や動物を安全に観察している。	B(1)ア(ア)
	<input type="checkbox"/> 虫眼鏡を正しく安全に使っている。	B(1)ア(ア)
	<input type="checkbox"/> 色、形、大きさなどに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録している。	B(1)ア(ア)
思・判・表	<input type="checkbox"/> 校庭の植物や動物のようすを観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	<input type="checkbox"/> 身の回りのいろいろな生物の色、形、大きさなどについて、差異点や共通点を言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 校庭の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	<input type="checkbox"/> 生物に関心をもって、大切にしようとしている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容

### 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	<input type="checkbox"/> 校庭や野原に出て生き物を探す。	共通性・多様性/比較
		・ 動物も植物も「生き物」ということを確認する。	共通性・多様性/比較
		・ においをかいだり触ったり、体全体を使って生き物を探す。	共通性・多様性/比較
		・ 見つけた生き物を記録カードにかく。	共通性・多様性/比較
○生き物をさがそう①	1	<input type="checkbox"/> 見つけた生き物を紹介する。	共通性・多様性/比較
		・ 見つけた生き物を紹介し合う。	共通性・多様性/比較
		・ 生き物について詳しく知りたいことや、それを調べるためにどうすればよいか考える。	共通性・多様性/比較
○生き物をさがそう②	2	<input type="checkbox"/> 春の生き物を観察する。	共通性・多様性/比較
		・ 虫眼鏡の正しい使い方を理解し、観察の方法を調べて生き物の観察をする。	共通性・多様性/比較
		・ 観察する生き物を決めて、詳しく調べ、わかりやすく記録カードにかく。	共通性・多様性/比較
		・ みんなの観察結果を並べて、観察したことを伝え合い、差異点や共通点など、気づいたことを話し合う。	共通性・多様性/比較
		・ 生き物は、すんでいる場所や大きさ、色、形などに違いがあることを理解する。	共通性・多様性/比較

大単元(題材名)	植物を調べよう(1)
中単元(曲名)	2. たねをまこう
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球
関連する道徳の内容項目	D 生命の尊さ/自然愛護

### 【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な植物の種子や子葉のようすを観察し、植物によって違いがあることがわかる。</li> <li>○ 育てている植物を観察して、その成長のようすをわかりやすく記録することができる。</li> <li>○ 植物の子葉の特徴をとらえ、図と言葉でわかりやすく記録することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な植物の種子を観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。</li> <li>○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育てている植物の成長に関心を持ち、粘り強く世話をしようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 適切なたねのまき方を理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の種子や子葉には、色や形、大きさに違いがあることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の子葉や葉の色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 様々な植物の種子のようすを観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容
3	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり)

### 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 様々な植物の花とたねを見比べて、気づいたことを話し合う。	共通性・多様性/比較
		・ それぞれの花とたねの色、形などに着目して、気づいたことを話し合う。	共通性・多様性/比較
		・ 生活科で育てたアサガオなどのようすを振り返り、植物がたねからどのように育っていくのか関心をもつ。	共通性・多様性/比較
1.たねまき	1	○ 育てたい植物のたねを選んでたねをまく。	共通性・多様性/比較
		・ 植物のたねを比べながら観察し、育てたい植物のたねを選んだら、そのたねのようすを詳しく観察して記録カードにかく。	共通性・多様性/比較
		・ たねのまき方を事前に確認し、それぞれの植物に合った方法でたねをまく。	共通性・多様性/比較
2.めが出た後のようす	2	○ 植物を栽培しながら、芽が出た後の成長のようすを記録する。	共通性・多様性/比較
		・ たねをまいてはじめて出てきた葉を子葉ということを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ テープなどを使った草丈のはかり方を理解する。	共通性・多様性/比較
		・ 子葉や葉の形、色、数、植物の草丈などを観察して、成長のようすを記録カードに記録する。	共通性・多様性/比較
		・ 観察した結果を話し合い、たねから芽が出た後に、子葉が出て、次に葉が出てきて草丈が伸びていったことをまとめる。	共通性・多様性/比較
		・ 記録のまとめ方や整理の仕方を理解する。	共通性・多様性/比較

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		22 ~ 35	9	5 ~ 6	

大単元(題材名)	3. チョウを育てよう		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度/国際理解, 国際親善	D生命の尊さ/自然愛護	

**【到達目標】**

知・技	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりの特徴がわかり, 図と言葉でわかりやすく記録することができる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方を観察し, 成長の変化をわかりやすく記録することができる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方がわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりを観察して, 気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="checkbox"/> チョウの育ち方を観察して, 前に観察したときと比べて違うことを見だし, 説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 育てているチョウの育ち方に関心をもち, 粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりについて理解している。	B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの体のつくりについて観察した結果を, 記録カードなどに的確に記入している。	B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの成長の仕方を理解している。	B(1)ア(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウの成長のようすを正確に記録している。	B(1)ア(イ)
思・判・表	<input type="checkbox"/> 育てているチョウの成長のようすについて調べ, 前に観察したときと比べて違うことを見だし, 図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> チョウの育ち方について関心をもち, 積極的に飼育, 観察をしようとしている。	
	<input type="checkbox"/> チョウに関心をもち, 大切にしようとしている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
3	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ キャベツ畑のモンシロチョウの写真を見て気づいたことを話し合う。	共通性・多様性/関係付け
		・ キャベツ畑に集まるモンシロチョウは何をしているのか、モンシロチョウの体のつくりはどうなっているのかなどを話し合う。	共通性・多様性/関係付け
1.チョウの育ち①	4	○ チョウのたまごや幼虫はどのように育っていくのか、育ち方を調べる。	共通性・多様性/比較
		・ モンシロチョウはキャベツの葉にたまごを産み、たまごから幼虫が孵化することを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ チョウはどのように育っていくのか、チョウの育ち方を予想する。	共通性・多様性/比較
		・ 事前に育て方を確認して、世話をしながら、たまごと幼虫の育ち方を観察する。	共通性・多様性/比較
		・ たまごは葉につけたまま、形や色、大きさを観察し、記録カードに記録する。	共通性・多様性/比較
		・ 幼虫は日を変えて何回か観察し、形や色、大きさを記録し、前回と変わったところを調べる。	共通性・多様性/比較
		・ 観察の結果から、幼虫は脱皮するたびに大きくなり、食べる餌や糞の量が増えること、やがてさなぎになることをまとめる。	共通性・多様性/比較
1.チョウの育ち②	1	○ さなぎはどのように成虫になるのか、育ち方を調べる。	共通性・多様性/比較
		・ 日を変えて何回か観察し、形や色、大きさなどの変化を記録し、前回と変わったところを調べる。	共通性・多様性/比較
		・ さなぎの形や大きさは変わらないが、色は少し変わること、何も食わず、しばらくすると成虫になって出てくることを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ チョウは、たまご→幼虫→さなぎ→成虫の順に育つことを理解する。	共通性・多様性/比較
2.チョウの体のつくり	2	○ チョウの成虫の体のつくりを調べる。	共通性・多様性/比較
		・ チョウの成虫の体は、頭・胸・腹に分かれていることを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ チョウの頭には目・口・触角がついていて、胸には4枚のはねと6本のあしがついていることを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ チョウの腹は、いくつかの節からできていることを理解する。	共通性・多様性/比較
		・ 体のつくりが、頭・胸・腹の3つの部分に分かれ、胸に6本のあしがある生き物のなかまを昆虫ということを理解する。	共通性・多様性/比較
○たしかめよう	1	○ チョウの育ち方と体のつくりについて学んだことを生かして問題を解く。	共通性・多様性/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		36 ~ 41	3	6 ~ 6	

大単元(題材名)	植物を調べよう(2)
中単元(曲名)	● 植物の育ちとつくり
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球
関連する道徳の内容項目	D 生命の尊さ/自然愛護

### 【到達目標】

知・技	○ 育てている植物を観察して、その成長のようすをわかりやすく記録することができる。 ○ 植物の成長のようすを観察し、植物によって葉の形や大きさなどに違いがあることがわかる。 ○ 植物の栽培を通して、植物の体のつくりは葉、茎、根からできていることがわかる。
思・判・表	○ 植物の体のつくりの差異点と共通点に気づき、それを適切に表現できる。 ○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長に関心を持ち、粘り強く世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物は、葉の形、草丈などに違いがあることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の体は葉・茎・根からできていて、根は地中にあり、葉は茎についていることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすをわかりやすく記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 植物の体のつくりの差異点と共通点に気づき、それを適切に表現している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容
3	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり、植物の成長と体のつくり)

### 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1.植物が育つようす	1	○ 植物の育ち方を観察する。	共通性・多様性/比較
		・ 植物がどのように育ったか、前回の観察記録と比べながら観察する。	共通性・多様性/比較
		・ 葉の色、形、数、植物の草丈、茎の太さに着目して調べ、記録カードにかく。	共通性・多様性/比較
2.植物の体のつくり	2	・ 観察の結果、草丈が高くなり、茎が太くなって、葉の数が増えたことをまとめる。	共通性・多様性/比較
		○ 植物の体のつくりを調べる。	共通性・多様性/比較
		・ 植物の体はどのようになっているのか、ビニルポットから取り出し、土の中の部分も観察する。	共通性・多様性/比較
		・ 植物についている土を洗い落とし、土の上に出ている部分と土の中にある部分のつくりを調べ、記録カードにかく。	共通性・多様性/比較
		・ ほかの植物の体のつくりと比較し、差異点や共通点について、気がついたことを話し合う。	共通性・多様性/比較
		・ どの植物の体も、葉・茎・根からできていて、根は茎から地中に広がり、葉は茎についていることを理解する。	共通性・多様性/比較

大単元(題材名)	4. 風とゴムの力のはたらき		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

**【到達目標】**

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風とゴムの力は、物を動かすことができることがわかる。</li> <li>○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物の動く距離との関係についてわかる。</li> <li>○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを変えたときの物の動く距離の違いを、正確に記録することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを大きくしたときの物が動くようすについて、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。</li> <li>○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすを関係づけてとらえ、その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風とゴムの力のはたらきについて粘り強く追究する活動を通して、物の動き方の変化には風とゴムの力のはたらきの大きさが関係していることを知り、まとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 風とゴムの力は、物を動かすことができることを理解している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 物の動く距離を調べて、その結果を適切に記録している。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 風とゴムの力のはたらきで動く車を正しく扱い、安全に実験を行っている。	A(2)ア(ア)(イ)
	○ 風の力を強くしたり、ゴムを長く伸ばしたりすると、物を動かす力が大きくなることを理解している。	A(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について、問題を見つけている。	A(2)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(2)イ
	○ ゴムの伸ばし方と物が動くようすを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。	A(2)イ
	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさを変える実験結果から、風とゴムの力のはたらきの大きさを変えると物が動くようすも変わることを導き出している。	A(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 風とゴムの力のはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 風を受けて進むヨットの写真を見て、風の力について疑問に思ったことや気づいたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 風やゴムで動くおもちゃで遊んだことを思い出し、風やゴムをどのように利用したか振り返る。	量的・関係的/比較/関係付け
1.風の力のはたらき	4	○ 風の強さと、物を動かすはたらきの関係を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 風で動く車を作り、送風機で風を当てて動かしたことから、風の強さと車が動く距離の関係について問題を見つける。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 風の強さを変えたときの、物を動かすはたらきの変化を調べる実験をする。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 車に強い風と弱い風を当てて、それぞれ車が動いた距離を調べ、表にして比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 物を動かすはたらきが大きいのは強い風と弱い風のどちらといえるか、実験の結果から考える。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 風の力のはたらきで物を動かすことができることと、風が強くなるほど物を動かすはたらきが大きくなることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
2.ゴムの力のはたらき	3	○ ゴムを伸ばす長さと、物を動かすはたらきの関係を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ ゴムで動く車を作って動かし、ゴムの伸ばす長さを変えると、物を動かすはたらきはどのように変わるか予想する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ ゴムを伸ばす長さを変えて、車が動いた距離を調べ、動いた距離を表にして比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験結果から、ゴムの伸ばす長さと、物を動かすはたらきの大きさについて、どのようなことがいえるか考える。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ ゴムの力のはたらきで物を動かすことができることと、ゴムの長く伸ばすほど物を動かすはたらきは大きくなることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 風とゴムの力のはたらきについて学んだことを生かして問題を解く。	量的・関係的/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		54 ~ 57	1	7 ~ 7	

大単元(題材名)	植物を調べよう(3)		
中単元(曲名)	● 花のかんさつ		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D 生命の尊さ/自然愛護		

### 【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物の種類によって、茎の伸び方、花の色、葉の形や大きさなどが違っていることがわかる。</li> <li>○ 育てている植物への水やりなど、継続して世話ができる。</li> <li>○ 育ててきた植物が成長し、葉が増え、茎が伸びて、花が咲いているようすを記録することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物の成長のようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。</li> <li>○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育てている植物の成長に関心を持ち、花が咲いたことを喜び、粘り強く世話をしようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物の草丈や花の色、葉の形などは、植物によって違っていることを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の草丈や葉の数、花の色などを正確に記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすをわかりやすく記録カードに記入している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 植物を観察し、その姿や花を比較し、その違いについて表現している。	B(1)イ
	○ 植物の成長のようすや花を観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 草丈の高いヒマワリなどは、棒を使うなどくふうして高さをはかろうとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容
3年	身の回りの生物(身の回りの生物と環境)

### 【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1.花がさいたようす	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 植物の育ちと花のようすを観察する。</li> <li>・ 植物がどのように育ったか、前回の観察記録と比べながら観察する。</li> <li>・ 葉の色、形、数、植物の草丈、茎の太さを調べ、記録カードにかく。</li> <li>・ 花のようすを調べ、記録カードにかく。</li> <li>・ 観察の結果、草丈が高くなり、茎が太くなって、葉の数が増え、花が咲いたことをまとめる。</li> </ul>	共通性・多様性/比較

大単元(題材名)	5. こん虫のかんさつ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護		

### 【到達目標】

知・技	<input type="checkbox"/> 昆虫は、食べ物がある場所や隠れやすい場所などに多くいることがわかる。 <input type="checkbox"/> 昆虫を見つけた場所やそのようすなどについて、正確に記録することができる。 <input type="checkbox"/> 昆虫の体のつくりの特徴がわかる。 <input type="checkbox"/> チョウとバッタやトンボの育ち方の差異点と共通点がわかる。
思・判・表	<input type="checkbox"/> 昆虫のいる場所やようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="checkbox"/> 昆虫がいる場所とその昆虫の食べ物や生活との関係について考えることができる。 <input type="checkbox"/> 昆虫の体のつくりを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。 <input type="checkbox"/> チョウとバッタやトンボの育ち方を比べ、その差異点と共通点を導き出すことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 昆虫のすんでいる場所や育ち方に関心を持ち、粘り強く調べようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	<input type="checkbox"/> 昆虫は、食べ物があったり隠れることができたりする場所にいることが多いことを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="checkbox"/> 昆虫のいる場所と活動のようすについて観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="checkbox"/> 昆虫の体のつくりについて理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="checkbox"/> チョウとバッタやトンボの育ち方の差異点と共通点を理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
	<input type="checkbox"/> 昆虫は、周りの環境と関わり合って生きていることを理解している。	B(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	<input type="checkbox"/> 昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について考察し、わかりやすく説明している。	B(1)イ
	<input type="checkbox"/> 食べ物や活動のようすなどから、見つけた昆虫がなぜそこにいたかを考え、まとめている。	B(1)イ
	<input type="checkbox"/> チョウとバッタやトンボの育ち方を比べ、その差異点と共通点を言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	<input type="checkbox"/> 昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について関心を持ち、積極的に観察をしようとしている。	
	<input type="checkbox"/> 昆虫に関心をもって、大切にしようとしている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容
3	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり, 昆虫の成長と体のつくり)

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1.こん虫のすみか	1	○ どのような昆虫がどこにいるのか、昆虫のすみかを調べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 校庭や野原に出て昆虫を探し、見つけた場所とそこにいた理由を考えて、記録カードにかく。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 昆虫は、食べ物や隠れるところのある場所に多くいて、周りの自然と関わり合って生きていることを理解する。	共通性・多様性/比較/関係付け
2.こん虫の体のつくり	2	○ 昆虫の成虫の体のつくりを調べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ チョウの体のつくりを思い出して、教科書P.65の図に描く。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 校庭や野原に出て昆虫を探し、見つけた昆虫の成虫の体のつくりを調べて記録する。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 体の分かれ方、あしやはねの数、目、触角、口、あしやはねがどこについているかに着目し、チョウの体のつくりと比べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 昆虫の成虫の体は、頭・胸・腹の3つの部分に分かれ、胸に6本のあしがあることを理解する。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 体のつくりが異なるダンゴムシやクモは、昆虫ではないことを理解する。	共通性・多様性/比較/関係付け
3.こん虫の育ち	1	○ 昆虫の育ち方を調べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ チョウの育ち方を思い出して、教科書P.67にチョウの育ち方の順番を書く。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ これまでに飼育してきた昆虫の記録を見返したり、図鑑やコンピュータで昆虫の育ち方を調べたりして、チョウの育ち方と比べる。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 調べた結果を比べ、昆虫の育ち方についてどのようなことがいえるのか、気づいたことや考えたことを発表する。	共通性・多様性/比較/関係付け
		・ 昆虫には、たまご→幼虫→さなぎ→成虫の順に育つものと、たまご→幼虫→成虫の順に育つものがあることを理解する。	共通性・多様性/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 昆虫の観察について学んだことを生かして問題を解く。	共通性・多様性/多面的に考える

大単元(題材名)	植物を調べよう(4)		
中単元(曲名)	● 植物の一生		
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労, 公共の精神	D 生命の尊さ/自然愛護	

**【到達目標】**

知・技	○ 植物は、花が咲いた後に実ができることがわかる。
	○ 植物の種子をまいてから実がなるまでの、観察記録を整理することができる。
思・判・表	○ 秋頃の植物のようすを観察して、気づいたことをわかりやすく発表できる。
	○ 育てている植物を観察して、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、説明することができる。
	○ 植物の成長の記録を整理し、ほかの植物の記録と比較して差異点や共通点をまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 4月から育ててきた植物のようすに関心を持ち、その育ち方を整理して粘り強くまとめようとする。
	○ 4月から育ててきた植物を最後まで愛情をもって世話をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 植物は花が咲いた後に実ができ、枯れていくことを理解している。	B(1)ア(ウ)
	○ 花が咲いた後の植物の変化や実のようすを正確に記録している。	B(1)ア(ウ)
	○ 育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。	B(1)ア(ウ)
	○ 植物の成長のようすを、わかりやすく記録カードに記入している。	B(1)ア(ウ)
	○ 4月から記録してきたカードを、植物の育ち方にそって整理している。	B(1)ア(ウ)
思・判・表	○ 複数の植物を観察し、実や枯れた姿を比較し、差異点や共通点について表現している。	B(1)イ
	○ 植物のようすや実を観察して、気づいたことを発表している。	B(1)イ
	○ 育てている植物の秋頃のようすを調べ、前に観察したときと比べて違っていることを図や言葉でわかりやすくまとめている。	B(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 花が咲いた後の植物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。	
	○ 植物に関心をもって、大切にしようとしている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
3	身の回りの生物(身の回りの生物と環境との関わり, 植物の成長と体のつくり)

**【学習活動】**

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
1.実ができたようす	1	○ 植物の育ち方を観察する。	共通性・多様性/比較
		・ 葉の色, 形, 数, 植物の草丈, 茎の太さを調べ, 記録カードに記録する。	共通性・多様性/比較
		・ 花の後にできている実のようすを調べ, 記録カードに記入する。	共通性・多様性/比較
		・ 植物がどのように育ったか, 前回の観察記録と比べながら観察する。	共通性・多様性/比較
2.かんさつきろくのふり返り	2	・ 観察の結果, 植物は花が咲いた後, 実ができてしばらくすると枯れたこと, 実の中にはたねができていたことをまとめる。	共通性・多様性/比較
		○ 観察記録を振り返り, 植物の育ち方について気づいたことなどを発表し合う。	共通性・多様性/比較
		・ 植物ごとに, 育ってきた順に記録カードを並べて整理する。	共通性・多様性/比較
○たしかめよう	1	・ どの植物の一生も育ち方は同じで, たねから育てて花を咲かせ, 実がなったら枯れていくことを理解する。	共通性・多様性/比較
		○ 植物の育ち方について学んだことを生かして問題を解く。	共通性・多様性/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		82 ~ 99	9	10 ~ 11	

大単元(題材名)	6. かげと太陽		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	C 勤労, 公共の精神/伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

**【到達目標】**

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かげは日光を遮るとできること, かげの位置は太陽の位置の変化に伴って変わることがわかる。</li> <li>○ 太陽の位置が東の方から南の空を通して西の方へ変化することがわかる。</li> <li>○ 日なたの地面の温度が日陰の地面に比べて高くなるのは, 日光で地面があたためられるからだとわかる。</li> <li>○ 方位磁針や温度計などを正しく扱うことができる。</li> <li>○ 方位磁針を使って東西南北の方位を調べ, 太陽の1日の位置の変化をとらえることができる。</li> <li>○ 日なたと日陰の地面の温度について, 正確に記録することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日なたと日陰の地面の温度の違いを日光と関係づけて考察し, その考察した内容をわかりやすく表現することができる。</li> <li>○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。</li> <li>○ かげの位置の変化を観察し, かげの位置の変化を太陽の位置の変化と関係づけてとらえることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かげと太陽の位置の変化について粘り強く追究する活動を通して, かげの位置の変化には太陽の位置の変化が関係していることを知り, まとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 人や物が日光を遮るとかげができること, かげは太陽の反対側にできることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 太陽は, 東の方からのぼって南の空を通して西の方へ沈むことを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ かげの位置は太陽の位置の変化に伴って変わると理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 方位磁針を使って太陽の位置を調べ, 正確に記録している。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 温度計などを使って, 日なたと日陰の地面の温度を正確に測っている。	B(2)ア(ア)(イ)
	○ 日光で地面があたためられ, 日なたの地面の温度が日陰の地面に比べて高くなることを理解している。	B(2)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ かげつなぎやかげ踏みをして気づいたことから, 問題を見つけている。	B(2)イ
	○ 日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について, 日光の当たったプールサイドが熱かった経験などから予想を立てている。	B(2)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	B(2)イ
	○ 予想を確かめるための観察を計画している。	B(2)イ
	○ 太陽の位置とかげの位置との関係, 日光と地面のあたたかさとの関係について考察し, それを言葉でわかりやすく表現している。	B(2)イ
	○ 観察の結果から, かげの位置が変わるのは太陽の位置が変わるからだと考え, 自分の言葉で表現している。	B(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ かげの位置の変化と太陽の位置の変化との関係を調べる観察計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて観察している。	
	○ 太陽と地面のようすの学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ かげつなぎやかげ踏みをして、気づいたことを話し合う。	時間的・空間的/関係付け
1.かげのでき方と太陽	2	○ かげのでき方と太陽の位置との関係を調べる。	時間的・空間的/関係付け
		・ 校庭でかげつなぎやかげ踏みをして、かげのでき方やかげのできる向き、太陽との関係に着目して話し合い、問題を見つける。	時間的・空間的/関係付け
		・ かげは、どのようなところで行えるのか、調べる方法を計画する。	時間的・空間的/関係付け
		・ 晴れた日の校庭で、遮光板を使ってかげの向きと太陽の位置を調べる。	時間的・空間的/関係付け
		・ かげは、太陽の光(日光)を人や物が遮ると太陽の反対側にできることと、人や物などのかげは同じ向きにできることを理解する。	時間的・空間的/関係付け
2.かげと太陽の動き	2	○ 時間の経過によるかげの向きの変化を調べる。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 2枚の写真を見比べて、かげの向きの変化から問題を見いだす。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ なぜ、かげの向きが変わったのか予想する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ かげの向きと太陽の位置を記録できる記録用紙をつくり、午前と正午頃、午後に調べて記録する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 方位磁針の正しい使い方を理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ かげの向きが変わるのは、太陽の位置が変わるからだということを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 太陽は時間の経過とともに、東から南の空の高い位置を通して西の方へ動くことを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
3.日なたと日かげの地面①	1	○ 日なたと日陰の地面を比べる。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 写真を見て気づいたことを話し合い、日なたと日陰の地面のようすを比較して問題を見いだす。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 校庭に出て、日なたと日陰の地面を触り、明るさ、あたたかさ、湿り気を比べる。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 日なたは明るく、地面は乾いていてあたたかいことを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 日陰は暗く、地面は湿った感じがしてつめたいことを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ あたたかさがどれくらい違うのか興味をもち、次の学習につなげる。	時間的・空間的/比較/関係付け
3.日なたと日かげの地面②	2	○ 日なたと日陰の地面の温度の違いを調べる。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 晴れた日の午前に、日なたと日陰の地面の温度を測り、正午頃に同じ場所でもう一度測って記録する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 温度計の正しい使い方を理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 日なたと日陰の観察の結果を比較することで、日なたの方が日陰よりも地面の温度が高いことを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 日なたの地面の温度は、午前よりも正午の方が高くなることを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
		・ 日なたの地面の温度が日陰より高くなるのは、日光で地面があたためられるからだということを理解する。	時間的・空間的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 太陽と地面のようすについて学んだことを生かして問題を解く。	時間的・空間的/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		100	8	11	~ 11

大単元(題材名)	7. 光のせいしつ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C国際理解, 国際親善		

### 【到達目標】

知・技	○ 日光はまっすぐに進み, 集めたり反射させたりできることがわかる。
	○ 物に日光を当てると, 物は明るく, あたたかくなることがわかる。
	○ 日光を集めたところは, より明るく, よりあたたかくなることがわかる。
	○ 複数の鏡で日光を集めたときの明るさやあたたかさの変化について, 正確に記録することができる。
	○ 虫眼鏡で日光を集めたときの明るさやあたたかさの変化を, 比較して調べることができる。
思・判・表	○ 日光の進み方について, 生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。
	○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。
	○ 鏡に反射した日光がつくる道筋を, 日光の進み方と関係づけて考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 光の性質について粘り強く追究する活動を通して, 日光をたくさん集めると物はより明るくあたたかくなることを知り, まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 日光はまっすぐに進み, 日光が当たったところは, 明るくあたたかくなることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 日光は集めたり, 鏡で反射させたりできることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 日光を集めたときのあたたかさを調べ, 正確に記録している。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 鏡や虫眼鏡を適切に扱い, 安全に実験を行っている。	A(3)ア(ア)(イ)
	○ 鏡で反射した日光を集めたり, 虫眼鏡で日光を集めたりしたとき, より明るく, よりあたたかくなることを理解している。	A(3)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係について考察し, その関係を自分の言葉で表現している。	A(3)イ
	○ 日光の進み方について問題をつくり, 的当て遊びをしたときや木漏れ日を見た経験などから予想を立てている。	A(3)イ
	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係を表に整理し, 鏡の枚数と明るさやあたたかさの変化との関係を考えている。	A(3)イ
	○ 立てた予想を発表したり, 文章にまとめたりしている。	A(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(3)イ
	○ 鏡の枚数を変える実験結果から, 日光を集めるとより明るく, よりあたたかくなることを導き出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 日光の進み方を調べる実験計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 日光と明るさやあたたかさとの関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 光の性質の学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 鏡ではね返した日光を利用した的当て遊びをして、気づいたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 日陰にある壁に的を作って、鏡ではね返した日光を当てる的当て遊びをする。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 的当て遊びで気づいたことや、身の回りで見られる日光について、気づいたことを話し合い、問題を見つける。	量的・関係的/比較/関係付け
1.はね返した日光の進み方	2	○ はね返した日光の進み方を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 日光はまっすぐに進む性質があること、鏡ではね返すことができることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ はね返した日光の進み方を予想し、確かめるための実験の計画を立てる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 鏡を使って、はね返した日光がどのように進むのか調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ はね返した日光は直進することを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ はね返した日光が重なったところがあたたかく感じたことに興味をもち、次の学習につなげる。	量的・関係的/比較/関係付け
		○ はね返した日光を重ねて当てたところの明るさやあたたかさについて調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
2.はね返した日光を重ねたとき	2	・ はね返した日光を重ねるとどうなるか予想する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 的を作って実験場所に置き、はね返した日光を当てる前の明るさや温度をあらかじめ調べておく。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 鏡1枚ではね返した日光を当てたとき、鏡3枚ではね返した日光を重ねて当てたときの、明るさと温度を記録し、比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験結果から、はね返した日光を当てたところは、明るく、温度が高くなることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験結果から考察し、はね返した日光をたくさん重ねるほど、より明るく、あたたかくなることを導き出す。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ もっと日光を集めるとどうなるのか、次の学習につなげる。	量的・関係的/比較/関係付け
		○ 虫眼鏡で日光を集めたときのようすを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
3.日光を集めたとき	2	・ 虫眼鏡を使うと日光を集められることを理解し、虫眼鏡を使って日光を集めるとどうなるか予想する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 虫眼鏡で黒い紙に日光を集め、虫眼鏡の距離を変化させて、日光を集めるところの大きさを変える。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 日光を集めるところを小さくすると、より明るくなり、煙が出て紙が焦げたことから、小さくするほど明るく、熱くなることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 光の性質について学んだことを生かして問題を解く。	量的・関係的/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		112 ~ 123	7	12 ~ 12	

大単元(題材名)	8. 電気で明かりをつけよう		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

**【到達目標】**

知・技	○ 電気の通り道が1つの輪のようになっているときに電気が通ることがわかる。
	○ 金属は電気を通すことがわかる。
	○ 電気の回路を正しく作ることができる。
	○ 電気を通す物と通さない物を調べる実験を、安全に行うことができる。
	○ 電気を通す物と通さない物があることを、回路を使った実験を通して調べ、正確に分類することができる。
思・判・表	○ 電気を通す物と通さない物について、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。
	○ 豆電球に明かりがつくときとつかないときを比較して、それらの違いが電気の通り道に関係していると考えることができる。
	○ 豆電球に明かりがつくかどうかということと回路を関係づけてとらえ、その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 電気の通り道について粘り強く追究する活動を通して、金属は電気を通すことを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 回路についてわかり、金属が電気を通すことを理解している。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 豆電球と乾電池、導線を正しくつないでいる。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 乾電池や豆電球、ソケットなどを正しく扱い、安全に実験を行っている。	A(5)ア(ア)(イ)
	○ 豆電球に明かりのつく回路を調べ、その回路を図でわかりやすく記録している。	A(5)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 身の回りで使われている電気について、問題を見つけている。	A(5)イ
	○ 電気を通す物と通さない物について、これまでに学習したことや生活経験などから予想を立てている。	A(5)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(5)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(5)イ
	○ 豆電球に明かりがつくかどうかということと回路を関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。	A(5)イ
	○ 電気を通す物の共通点や電気を通す物と通さない物の差異点に気づき、電気を通す物についてまとめている。	A(5)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ どのような物が電気を通すのかということに関心をもって調べ、見いだしたことを生活に生かそうとしている。	
	○ 電気を通す物と通さない物を調べる実験で、積極的に調べたり、結果を粘り強く分類・整理している。	
	○ 電気の通り道の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 教科書P.112, 113の明かりの写真を見て, 気づいたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
1.明かりがつくとき	2	○ 豆電球に明かりがつくつなぎ方を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 豆電球と乾電池を導線でつなぐと豆電球に明かりがつくことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ いろいろなつなぎ方で豆電球と乾電池を導線でつないで, 明かりがつくつなぎ方とつなないつなぎ方で分けて記録する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 明かりがついたつなぎ方と, つななかつたつなぎ方の違いを考察する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 乾電池の+極, 豆電球, 乾電池の-極を輪になるように導線でつなぐと, 豆電球に明かりがつくことを導き出す。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 輪のようにになっている電気の通り道を回路ということを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
2.電気を通すもの	3	○ 電気を通す物と通さない物を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 電気を通す物と通さない物があることを理解し, 電気を通す物と通さない物を予想し, 表にする。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 調べる物を回路につないで調べ, 電気を通すかどうかを記録する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験の結果を予想と比べながら, どのような物が電気を通すのか, 話し合って考える。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 銅, 鉄, アルミニウムなどを金属といい, 金属は電気を通す性質があることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ ガラス, プラスチック, 紙, 木などは, 電気を通さないことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 電気の通り道について学んだことを生かして問題を解く。	量的・関係的/多面的に考える

大単元(題材名)	9. じしゃくのふしぎ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気, 努力と強い意志	C 家族愛, 家庭生活の充実/ 国際理解, 国際親善	

**【到達目標】**

知・技	○ 鉄は磁石に引きつけられることがわかる。
	○ 磁石と鉄との間が離れていても、磁石は鉄を引きつけることがわかる。
	○ 磁石に極があることと、磁石の極性がわかる。
	○ 鉄は磁石に近づけると磁石のはたらきをもつようになることがわかる。
	○ 鉄くぎや方位磁針などを適切に扱い、磁石に近づけた鉄が磁石になるのかどうかを調べる実験を安全に行うことができる。
	○ 磁石の鉄を引きつける力は、磁石と鉄の距離が関係していることがわかる。
思・判・表	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について、生活のなかで経験したことなどから、予想を立てることができる。
	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を比較して、それらの違いを材質と関係づけて考えることができる。
	○ 間に紙などをはさんでも磁石が鉄を引きつけることから、磁石と鉄が離れていても鉄を引きつける力がはたらいていると考えることができる。
	○ 磁石の同極どうし、異極どうしを近づけたときのようすを、言葉でわかりやすくまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 磁石の性質について粘り強く追究する活動を通して、磁石の鉄を引きつける力には磁石と鉄との距離が関係していることを知り、まとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 磁石は鉄を引きつけることと、磁石にはN極とS極があることを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石と鉄との間に磁石に引きつけられない紙などをはさんでも、磁石は鉄を引きつけることを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石の異極どうしは引き合い、同極どうしは退け合うことを理解している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 実験の結果をわかりやすく記録している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 磁石の極性を調べ、その結果を正確に記録している。	A(4)ア(ア)(イ)
	○ 棒磁石や方位磁針を正しく扱い、安全に実験を行っている。	A(4)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 磁石に引きつけられる物の共通点や引きつけられない物との差異点について考察し、問題を解決している。	A(4)イ
	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について、磁石を使ったときの経験などから予想を立てている。	A(4)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(4)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(4)イ
	○ 磁石が鉄を引きつける力の変化を、磁石と鉄との距離に着目して考えている。	A(4)イ
	○ 磁石の極どうしを近づける実験で、同極どうしか異極どうしかを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。	A(4)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 磁石の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容	
3	年	電気の通り道

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 磁石を身の回りの物に近づけ、気づいたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
1.じしゃくにつくもの	4	○ 磁石につく物とつかない物を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石につく物を、磁石を身の回りの物に近づけたときのようすや、電気の通り道で学んだことから予想する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 電気を通す物を調べたときと同じ物を調べ、予想と結果を表にする。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 調べる物を磁石に近づけてつくかどうか記録し、つく物とつかない物を分類して整理する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 結果を予想と比べながら、磁石につくのはどのような物が考察して話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 鉄でできている物は、磁石につくことと、鉄以外の金属は磁石につかないことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ ガラス、プラスチック、紙、木、ゴムなどは、磁石につかないことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石についてのプラスチックは、その中に鉄が入っていることと、磁石と鉄が直接接触していても引きつけられることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石の鉄を引きつける力は、磁石と鉄の距離が関係していて、磁石に近いほど鉄を引きつける力が強いことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
2.じしゃくのきょく	1	○ 磁石の極性を調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石の鉄を引きつける力が最も強い部分を極といい、N極とS極があることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石の極どうしを近づけたときのようすを調べ、その記録をまとめる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験から、同極どうしの場合は退け合うことと、異極どうしの場合は引き合うことを導き出す。	量的・関係的/比較/関係付け
3.じしゃくについた鉄	1	○ 鉄は、磁石に近づけると磁石になるのかを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 磁石についた鉄くぎにつながってつく鉄くぎがあることから、磁石についた鉄くぎは磁石になるのかという問題を見つけ、実験で確かめる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 鉄くぎの頭をしばらく極につけ、その後に鉄のゼムクリップや方位磁針に近づけてようすを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験の結果を考察し、鉄くぎは磁石になったといえるか話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 鉄は磁石につくと、磁石になることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 磁石の性質について学んだことを生かして問題を解く。	量的・関係的/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		140 ~ 149	6	2 ~ 2	

大単元(題材名)	10. 音のせいしつ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	D自然愛護	

**【到達目標】**

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音が出ているときは物が震えていることがわかる。</li> <li>○ 音の大きさが変化すると物の震え方が変わることがわかる。</li> <li>○ 音の大きさと物の震え方との関係を調べる実験を, 安全に行うことができる。</li> <li>○ 音の大きさを変えたときの物の震え方のようすの違いを, 正確に記録することができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音の大きさを変化させたときの物の震えるようすについて, 生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。</li> <li>○ 音の大きさと物の震え方のようすを関係づけてとらえ, その関係を表を使ってわかりやすくまとめることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音の性質について粘り強く追究する活動を通して, 物の震え方の変化には音の大きさが関係していることを知り, まとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物が震えることで音が伝わることを理解している。	A(3)ア(ウ)
	○ 音が大きいときは物の震え方が大きく, 音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解している。	A(3)ア(ウ)
	○ 物の震え方の変化を調べて正確に記録している。	A(3)ア(ウ)
	○ 楽器や身の回りの物を正しく扱い, 音を出す実験を安全に行っている。	A(3)ア(ウ)
思・判・表	○ 楽器や身の回りの物で音を出して, 問題を見つけている。	A(3)イ
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係について, 音楽の授業で太鼓を使ったときの経験などから予想を立てている。	A(3)イ
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係を表に整理して, わかりやすく説明している。	A(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて, 自分の予想の妥当性について考えている。	A(3)イ
	○ 音の大きさを変える実験結果から, 音の大きさを変えると物の震え方も変わることを読み出している。	A(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係を調べる実験計画について, 友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 音の大きさと物が震えるようすとの関係について問題を見つけ, 自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 音の性質の学習で, わかったこととまだわからないこと, できるようになったこととまだできないことが何かを, 自分で考えている。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 楽器や身の回りの物で音を出し、気づいたことを話し合う。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 打楽器をたたいたり、輪ゴムを指で弾いたりして音を出し、そのときのようすで気づいたことを話し合い、問題を見つける。	量的・関係的/比較/関係付け
1.音が出ているとき	2	○ 音が出ているときの物のようすを、音の大きさと物の震え方の関係に着目して調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 音が出ているときの物のようすがどうなっているのか、トライアングルで調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ トライアングルをたたいて音を出し、音が出ていないときと、出ているときのようすを比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ トライアングルをたたいて音を出し、震えを止めるとどうなるかようすを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ トライアングルを強くたたいたり弱くたたいたりして、大きい音を出したときと小さい音を出したときのようすを指で触れて比べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 物から音が出ているときは、物は震えていることと、震えを止めると音が聞こえなくなることを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験結果から、音の大きさが変わると物の震え方が変わることを導き出す。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 音が大きいときは物の震え方が大きく、音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
2.音がつたわるとき	2	○ 音が伝わるときの物のようすを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 糸電話を作り、友だちと話しながら糸に触れたり糸をつまんだりしてようすを調べる。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 実験結果から、音が伝わるときは、音を伝えている物が震えていることを導き出す。	量的・関係的/比較/関係付け
		・ 物が震えることで音が伝わり、震えを止めると音は伝わらないことを理解する。	量的・関係的/比較/関係付け
○たしかめよう	1	○ 音の性質について学んだことを生かして問題を解く。	量的・関係的/多面的に考える

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	3	啓林		150	7	2	~ 3

大単元(題材名)	11. ものと重さ		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	A 物質・エネルギー		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		

### 【到達目標】

知・技	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物は、形が変わっても重さが変わらないことがわかる。</li> <li>○ 物は、体積が同じでも種類が違くと重さが違うことがわかる。</li> <li>○ 物の形を変えたときの重さを、正確に記録することができる。</li> <li>○ 物の種類による重さの違いを調べる実験を、安全に行うことができる。</li> </ul>
思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物の形を変えたときの重さについて、生活のなかで経験したことなどから予想を立てることができる。</li> <li>○ 予想を確かめるための実験計画を立てることができる。</li> <li>○ 物の種類と重さとの関係を調べる実験の結果をわかりやすくまとめることができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物の重さについて粘り強く追究する活動を通して、物は形が変わっても重さは変わらないことを知り、まとめようとする。</li> </ul>

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

### 【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物の形を変えても、物の重さは変わらないことを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ 同体積でも、物の種類が違くと重さも変わることを理解している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ 実験の結果を、表に整理してわかりやすく記録している。	A(1)ア(ア)(イ)
	○ はかりを正しく扱い、物の重さを正確にはかっている。	A(1)ア(ア)(イ)
思・判・表	○ 物の形と重さとの関係や、物の種類と重さとの関係について考察し、その考察内容をわかりやすく表現している。	A(1)イ
	○ 物の形と重さとの関係について、体重計の上で姿勢を変えたときの経験などから予想を立てている。	A(1)イ
	○ 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。	A(1)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	A(1)イ
	○ 予想を確かめるための実験を計画している。	A(1)イ
	○ 種類の違う同体積の物の重さを調べる実験結果から、体積が同じでも種類が違くと重さが違うことを導き出している。	A(1)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 物の形を変えたときの重さを調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。	
	○ 物の種類とその重さとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。	
	○ 物の重さの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

### 【関連する既習内容】

学年	内容

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
○導入	1	○ 身の回りの物を手に持って、その重さや大きさなどで気づいたことを話し合う。 ・ 体重計に乗ったときに姿勢を変えると体重も変わるか考えてみる。	質的・実体的/比較 質的・実体的/比較
1.ものの形と重さ	2	○ 物の形を変えると、重さがどうなるのかを調べる。 ・ アルミニウム箔は丸める前と後で重さが変わるのかなど、生活のなかで感じたことから問題を見いだす。 ・ 物の形が変わると重さは変わるのかを調べるため、台ばかりを使った実験の計画を立てる。 ・ 台ばかりの使い方を理解する。	質的・実体的/比較/関係付け 質的・実体的/比較/関係付け 質的・実体的/比較/関係付け
		・ もとの粘土の重さをはかってから、粘土をいろいろな形に変えて重さをはかり、記録カードにかいて、もとの粘土の重さと比べる。 ・ 実験の結果から、形を変えても、物の重さは変わらないことを理解する。	質的・実体的/比較/関係付け 質的・実体的/比較/関係付け
		・ 形と大きさが似ている、アルミニウムと鉄の空き缶の重さが違うように感じたことから、次の学習へつなげる。	質的・実体的/比較/関係付け
2.ものの体積と重さ	3	○ 種類が違う同じ体積の物の重さを調べる。 ・ 物の大きさ(かさ)のことを体積ということを理解する。	質的・実体的/比較 質的・実体的/比較
		・ 体積が同じでも、物の種類が異なると重さは違うのか、予想を立てて実験の計画を立てる。	質的・実体的/比較
		・ 同じ体積の鉄やゴム、木などのおもりを用意し、まず手で持って重く感じた順に並べ、次に1つずつ台ばかりで重さをはかって記録する。	質的・実体的/比較
		・ 実験の結果、手では違いがわかりにくかった物も、台ばかりではかると重さにはっきりと違いがあることを理解する。	質的・実体的/比較
		・ 実験の結果からどのようなことがいえるか、体積という言葉を使って考える。	質的・実体的/比較
		・ 体積が同じでも、物の種類が異なると重さは違うことを理解する。	質的・実体的/比較
○たしかめよう	1	○ 物の重さについて学んだことを生かして問題を解く。	質的・実体的/多面的に考える